

RID 2780

茅ヶ崎ロータリークラブ週報

第 61 代会長 大箭 剛久

第 61 代幹事 杉田 祐一

Painted by Kenzo Tanaka

2020-2021 年度

ロータリーは機会の扉を開く

〔事務局〕 〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町 13-29 茅ヶ崎商工会議所 3 階 TEL: 0467-83-6060 FAX: 0467-83-9915

メール: c3rc@io.ocn.ne.jp 〔例会場〕 〒253-0073 茅ヶ崎市中島 1341 コルティール茅ヶ崎 TEL: 0467-87-0002

2021 年 2 月 25 日(木) 第2917回例会[オンライン] 天候:晴れ 司会:加瀬義明副幹事 No. 24

≡本日の例会行事≡

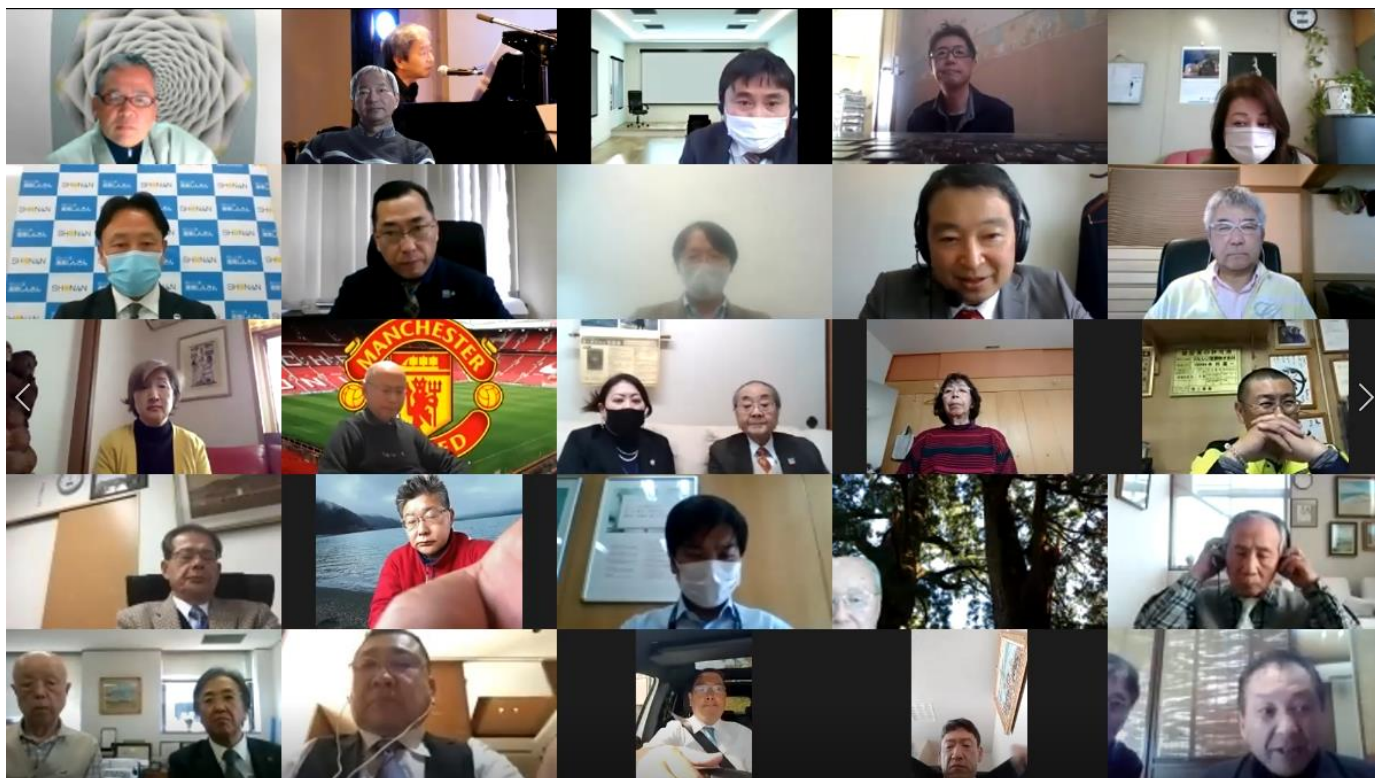
◇歌唱 割愛

◇会長挨拶

◇幹事報告

◇委員会報告 地区・青少年交換

◇卓話 「私の職業奉仕」 木村邦佑会員 (職業奉仕委員長)



◎委員会報告

地区・青少年交換委員会 [水嶋会員]: 次年度の交換学生事業は残念ながら中止となりました。

オンライン例会も3回目となり、皆さんかなり慣れてきたようです。仕事等で普段 ZOOM を使っている人はもちろん、初めての会員も経験済みの会員のサポートを受けての参加で、例会を楽しんでいる様子。今年度はこういう例会もある、ということを知ることができた年度として、記憶にも記録にも留められることでしょう。



卓話の木村会員と委員会報告の水嶋会員

日時	回	現会員	計算会員	出席	MU済	欠席	暫定出席率	修正出席率
2/25	2917	40	28	28	0	0	100%	
2/4	2915	40	28	27	1	0	100%	100%



出典：2008年国際協議会 渡辺好政元R | 理事

卓話「私の職業奉仕」木村邦佑会員

お坊さんは仏さまへの給仕奉公(奉仕)は欠かせません。最初は徹底的に仏さまへの給仕と掃除を仕込まれます。他への奉仕[菩薩行]の実践(自分の事より人のこと)の始まりです。朝の勤行は仏さまへの給仕から始まり、守護神への感謝、ご先祖様への回向、自然災害などで亡くなった人の供養、世界の平和、国土の安穏、皆さんの健康と家内安全...。毎朝 全国のお坊さんがこのように祈りを捧げています。

しかし、一般的には亡くなった人や先祖を供養する時にお経をあげてくれる人、という印象が強いです。仕事としてそのようなことが多いのも事実ですが、お坊さんは本来、仏さまの教えを受け継いで皆に弘めていく人です。言うならば「語り部」でしょうか。お経は仏さまの教えを弟子達が語り継いでまとめたもの。法話は仏さまの教えを基にお坊さんがその時代その時代にに応じて説くもの。普段の中では人生相談(生きる苦しみからの脱却、楽しさを得る)、供養(死の苦しみ 死後の苦しみからの脱却、残された者の心の安心)をします。死者に対しても生きている者に対しても、仏さまの教えで苦しみを解き、安心を与える役目[抜苦与楽]です。

ひとことに相談事と言っても多種多様あります。答えを出す相談として、運氣や方位の鑑定などがあり、答えを出さない相談としては人生相談です。背中を押して欲しい人もそうでない人もいますが、基本的には聞き手に徹します。これを傾聴と言います。「お寺に行けば話を聞いてもらえる」そんな場所でありたいと思います。昔は「寺子屋」として子供の教育の場であり、情報の発信地、知識の泉という場所でした。そこで、一つ考えていることがあります。

★提案：子ども食堂～明るい町作り～世界平和

近隣(遠近問わず)の子ども達に「子ども食堂」という名のもとに集まってもらい、食事を提供する。もちろん大人も可。

毎週例会に出席することでクラブ活動を通じて多種多様の職業の人間とふれあい、知識と教養を深めるとともに親睦を深め、奉仕の理念を理解・吸収する。そしてそれを基に自分の職業をきちんと全うすることで職業奉仕という幹を太くし、大いなる枝葉を繁らせ、ロータリー財団・国際奉仕・社会奉仕・新世代奉仕という果実を実らせる。その実はグローバルに行き渡り、地に戻れば肥料となって更なる循環を生み出す。

例えばカレーライスを月に一度、第三土曜日の 17:00～19:00 などと時間を定めて、サロン形式で大人と子どもが入り交じっての食事と片付けをする、とか。片付けることで教育の一環にもなることでしょう。

効果としては、貧困していても人に言えない、また言いたくないといった貧困家庭への手助けが考えられます。サロン形式により、誰でも参加出来ることで貧困家庭を特定しにくくできます。また、話すことで虐待の有無を確認できるでしょうし、人と話すことで自然と人生相談の場になるという側面もあります。塾へ行けないことで進学できず、更なる貧困を生むことを防ぐ為にいずれは教育の場も設けられればとも考えています。こうしたことを実施することで「一人じゃない」ことの実感も持てることでしょう。

また、別の効果もあるでしょう。茅ヶ崎市も推奨しているのので、提携することで学校などに宣伝してもらえ、市としては場所がお寺なので安心して使える、このような場が増えていけば町全体が良い方向へ向かうといった。ロータリアンとしての奉仕活動の一つとして有意義で、子ども達の未来が明るくなれば町全体が明るくなることに繋がります。お寺が地域コミュニティ再生の一端を担えることになれば、嬉しい限りです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

『信隆寺&来恩寺 子ども食堂』構想

当初 2021 年 4 月スタートを予定していましたがコロナ禍で状況が変わりました。弁当を持たせるとか、買って来た物を配るとか色々と考えましたが、子育て支援課との話し合いで、焦らずに様子を見てゆっくりと始めましょうということになりました。現在その時に向けて準備中です！その時は皆さまのご協力を頂くかもしれません。宜しくお願い致します。



東日本大震災の際炊き出しをする木村邦佑会員。ボランティア経験も豊富です